



H18.10.20 1214  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行 = 指導部 漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 平成18年度天草共販第8回入札会開催される

本会では10月18日、賀茂出張所において天草共販事業の第8回入札会を開催しました。第8回までの取扱累計は143,955kg(5,786本)、取扱金額183,451千円、平均単価12,743円(10kgあたり)となりました。

今回の入札結果は次のとおりです。 入札数量：5,127kg(215本) 取扱金額：4,544千円 平均単価：8,862円(10kgあたり) 最高入札額：13,170円(10kgあたり) <産地 = 田牛、銘柄 = まくさ(粗) >

### 2. イルカ追い込み漁 今期の説明会を開催

伊東市漁協では10月11日、組合関係者や報道関係者等に、富戸地区に伝わる「イルカ追い込み漁」に係る今期の操業計画、取材規制などの説明会を開催しました。

計画によると、国が示した漁獲枠はスジイルカ70頭、バンドウイルカ75頭、アラルイルカ455頭の3種600頭で、既に全国の水族館から飼育用のバンドウイルカ約30頭の注文が入っています。

平成14年の操業再開後、唯一漁獲のあった一昨年11月の漁でも、捕獲されたのはバンドウイルカ約20頭のみで、14頭が水族館に引き取られたほか、5頭が自家消費、1頭が発信機を取り付け海に戻されています。

現在でもイルカの追い込み漁を続けているのは、国内では富戸と太地町(和歌山県)だけで、伊東におけるイルカ漁は江戸時代に始まり、富戸では明治時代初期から追い込み漁が行われるようになりました。

### 3. 第58回全国漁港漁場大会が開催される

第58回全国漁港漁場大会が10月12日、メルパルクホール(東京)において、本県の県漁港漁場協会戸本会長(焼津市長)をはじめ、漁業関係者等35名を含め、全国から約1,500名の大会関係者が出席して、盛大に開催されました。

東京都漁港漁場協会藤井理事の開会宣言に続いて、全国漁港漁場協会田中会長より主催者の挨拶があり、続いて開催都市の石原都知事より挨拶が行われました。引き続き、自民党漁港漁場漁村整備促進議員連盟竹山裕会長、衆参両院の農林水産委員長らが祝辞を述べました。

このあと、大会議事に移り、「新たな漁港漁場整備長期計画の策定と平成19年度水産基盤・漁港海岸予算の確保に関する件」の付議議案及び決議案を全会一致で承認しました。最後に富山県漁港漁場協会堂子会長が閉会の挨拶を行い、その後、農林水産省をはじめ、関係省庁などへ要請活動を行いました。

決議事項 夢のある新たな漁港漁場整備長期計画の策定 国による沖合漁場の整備等を通じた我が国周辺水域の生産力の向上 安全で良質な水産物の安定的な提供と国際競争力強化に資する生産流通拠点づくり 災害に強く、快適で活力ある漁業地域

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

づくり

### 4. 焼津水産高校が目指せスペシャリスト事業の指定を受ける

文部科学省は特色ある取り組みを行う専門高校を支援するため、15年度から「目指せスペシャリスト」(スーパー専門高校)事業を始め、このほど静岡県立焼津水産高校が、全国の水産高校の中で初めて同事業の指定を受けました。また、県内の専門高校でも初めての指定となりました。

同校では、研究課題に「水産資源を活用した新商品開発と流通実践を通しての水産スペシャリストの育成 - 地域と共に未来へ前進」を掲げた実践・体験的な教育の取り組みを推進します。この事業計画では、地元の有力水揚げ魚であるサバの燻製の製造と商品開発 水産加工残渣の利用による魚醤製造 模擬企業「フィッシュパラダイス魚国」の実践 海洋技術を生かした地域に貢献できるスペシャリストの育成 養殖技術を生かした絶滅危惧種などの保護の研究開発活動を、各学科や各学年を通じて全校を挙げて取り組みます。

この事業を通じて、体験的な学習や研究に取り組み、水産技術を身に付けることで、生徒にスペシャリストとしての自覚を促します。また、学校は地域に根差した職業教育を行う専門高校としての教育力を高めます。学習・研究の成果は研究発表や討論会などで、地域や企業に反映させます。

### 5. 平成19年度農林水産業研究開発助成事業に係る募集のお知らせ

しずおか産業創造機構では、県内の農林水産業に携わる方々が行う新技術・新製品に関する研究開発(実用化を目的にした試作等)に対し、その経費の一部を助成する農林水産業研究開発助成事業を実施し、このほど平成19年度における農林水産業研究開発について、次のとおり募集しています。

助成対象者：水産業者又は水産業者の組織するグループ、漁協や、水産業に関係する中小企業者が行う、新技術・新製品の研究開発で、平成20年2月28日までに完了する見込があるものが対象となる。 開発技術の要件： 開発技術が実用化を目的にした開発試作 実用化の見込がある技術 その技術の実用化で経済的波及効果が期待できる

自社のみの利益にとどまらず、県内産業の発展や公共の利益に寄与する

助成対象となる経費： 原材料費 研究用機器費 外注加工費 委託費 その他  
の経費 補助率：助成対象経費の3分の2以内とし、500万円を限度とする 助成期間：原則1年間

問合せ先： しずおか産業創造機構新産業発掘チーム TEL:054-254-4512

### 6. 会議・日程(10月24日(火)～11月6日(月))

- 既報分省略 -

10月24日(火) 県信漁連 = 理事会 (県水産会館)

10月25日(水) 県JF共済推進本部 = 推進専門委員会 ( " )

10月28(土)～30日(月) 県漁連 = 第26回全国豊かな海づくり大会 (佐賀県)

11月 2日(木) 県漁業信用基金協会 = 理事会 (県水産会館)

" 県漁船保険組合 = 監事会 ( " )

" 県漁業共済組合 = 理事会 ( " )

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう